

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は 発表学会等の名称	概 要
(著書(欧文)) 1. 2.				
(著書(和文)) 1. 2.				
(学術論文(欧文)) 1. 2.				
(学術論文(和文)) 1. 高齢者とその家族の人工的水分・栄養補給法(AHN)検討時における認定看護師の意思決定支援(修士論文)	単著	2018年3月	茨城県立医療大学大学院	高齢者の胃瘻造設に関わったことのある摂食・嚥下障害看護認定看護師4名を対象に半構造的面接を行い、内容分析法を用いて質的帰納的に分析した結果、321のコードが抽出された。認定看護師は胃瘻造設検討時において、「経口摂取の可能性と胃瘻造設を巡る退院後の生活まで見据えた専門的支援」、「選択から意思決定後まで揺れ動く高齢者とその家族の気持ちに寄り添った支援」を行っていた。また、高齢者にとって最善な選択であったかどうか葛藤を抱きながらも、「高齢者にとって最善な選択へ導こうとする信念」を抱き支援していたことが明らかになった。
2. 高齢者とその家族の胃瘻造設検討時における摂食・嚥下障害看護認定看護師における意思決定支援(査読付き)	共著	2020年8月	日本摂食嚥下リハビリテーション学会誌24巻2号, 177-183	修士論文の一部を加筆・修正して投稿した。本研究の調査・論述は単独で行い、共著者に助言を受けた。 共著者：井坂恵，市村久美子，安川揚子
(紀要論文) 1. 2.				
(辞書・翻訳書等) 1. 2.				
(報告書・会報等) 1. 2.				
(国際学会発表) 1. 2.				

<p>(国内学会発表)</p> <p>1. 看護学生の死生観 - 死生観とアイデンティティ・学生生活との関連から-</p> <p>2. 術前・術後の口腔ケア統一に向けての取り組み—看護師の意識調査と現状調査を行って—</p> <p>3.</p> <p>4.</p>	<p>2014年11月</p> <p>2015年9月</p> <p>2018年9月</p> <p>2019年9月</p>	<p>第12回日本ヘルスプロモーション学会（千葉県，順天堂大学）</p> <p>第16回日本医療マネジメント学会茨城県支部学術集会（茨城県，つくば国際会議場）</p> <p>第24回日本摂食嚥下リハビリテーション学会（新潟県朱鷺メッセ）</p> <p>第20回日本医療マネジメント学会茨城県支部学術大会（土浦協同病院付属看護専門学校）</p>	<p>看護系大学4年次の実習をすべて修了したA大学看護学科4年生51名を対象にアイデンティティ・生死に関する語りの有無・学生生活が看護学生の死生観におよぼす影響について、アンケート調査を行った。その結果、アイデンティティが確立している学生や他大学の学生と交流する機会が多い学生ほど、死生観のうち「人生における目的意識」を持っていた。また、友人と生死に関して語り合う機会が多い学生ほど死生観のうち「死への関心」が高い傾向にあった。共著者：井坂恵，市村久美子</p> <p>術前後の口腔内の清潔に対する意識を高め、口腔ケアの実施率を高めるための勉強会を実施し、病棟看護師の意識の変化を明らかにするために、勉強会前後、勉強会8か月後に、電子カルテより看護師15名の口腔ケア実施・患者への指導に関する看護記録の有無を抽出し集計した。その結果、術前患者への口腔内の観察や口腔ケアの促しは、勉強会実施により増加した、8か月後には2割減少した。しかし、術後の口腔ケア実施の記録または看護計画の立案があった者は勉強会後に増加したが、さらに8か月後には全体の9割が口腔ケア実施・計画立案を続けていることが明らかになった。共著者：井坂恵，岩淵桂，鶴見晴美，豊田江美子</p> <p>学術論文1に記した研究概要について一部抜粋し発表した。共著者：井坂恵（発表者），市村久美子，安川揚子</p> <p>2019年4月から6月までに経尿道的前立腺切除術および経尿道的膀胱腫瘍切除の患者を対象にし、入院時のクリティカルパスによる治療計画の説明に対する患者の発言を看護師が聴取し、電子カルテ上で看護記録に残し患者の理解度に関する記録を抽出し、検討した。対象の患者24名、平均年齢72歳であった。その結果、クリティカルパスについて「事前に流れが分かったので気持ちが理解できた」、「安心した」などの発言がみられた。一方で「追加の説明があるとよかった」との発言もみられた。病棟ではなく術前外来で、パスを配布したことにより、事前に患者が目を通すことができ、患者の理解促進を図れた。対象者も高齢であり、一度の説明だけでは理解できないこともあるため、病棟内でも時間を設けて説明していく必要性が示唆された。共著者：江崎翔太，井坂恵，寺田照子</p>
--	--	---	--

(演奏会・展覧会等)						
1.						
2.						
(招待講演・基調講演)						
1.						
2.						
(受賞(学術賞等))						
1.						
2.						
研 究 活 動 項 目						
助成を受けた研究等の名称	代表, 分担等 の別	種 類	採択年度	交付・ 受入元	交付・ 受入額	概 要
(科学研究費採択)						
1.						
2.						
(競争的研究助成費獲得(科研費除く))						
1.						
2.						
(共同研究・受託研究受入れ)						
1.						
2.						
(奨学・指定寄付金受入れ)						
1.						
2.						
(学内課題研究(共同研究))						
1.						
2.						
(学内課題研究(各個研究))						
1.						
2.						
(知的財産(特許・実用新案等))						
1.						
2.						